

つなげ  
書道の衝動  
SHODO

第19回

書道パフォーマンス甲子園

墨にまみれた究極の青春



今年もやります！

全27  
店舗

紙のまちマルシェ

この衝動を日本中に！コスモステレビで全編生中継

CATVチャンネル「sattonoka」で

全国生中継

8月2日に伊予三島運動公園体育館で開催される「第19回書道パフォーマンス甲子園」の本戦出場校が、6月17日にしこちゅ〜ホールで発表された。この模様は公式ユーチューブチャンネルで生配信され、全国の高校書道部員が固唾をのんで見守った。

「書道パフォーマンスの聖地」四国中央市を目指し、33都府県から109校がエントリー。今大会は、これまでに本戦出場歴のない学校と選手6人以下の学校からそれぞれ選出する「チャレンジ枠」が設けられた。

全国を地域別に7つのブロックに分けて審査が行われ、チャレンジ枠2校を含む全22校が本戦出場を決めた。

この夏、聖地・四国中央市で最も熱い衝動をぶつけ、会場を魅了するのはどの高校か。

高校生が作りあげる最高の舞台で、高校生が最高のパフォーマンスを披露する。大会に関わるすべての人が主役のストーリーをぜひご覧ください。

本戦出場22校を

次ページで紹介！

第19回 書道パフォーマンス甲子園

観覧無料

2026.8.2 SUN 9:00 START 伊予三島運動公園体育館



**四国ブロック**

本戦出場校3校/参加15校



高松商業高等学校 (香川)

**近畿ブロック**

本戦出場校3校/参加19校



須磨東高等学校 (兵庫)

**中部ブロック**

本戦出場校3校/参加18校



松本蟻ヶ崎高等学校 (長野)

初



伊予高等学校 (愛媛)



高松西高等学校 (香川)



兵庫高等学校 (兵庫)



上宮高等学校 (大阪)

初



上田西高等学校 (長野)



岐阜高等学校 (岐阜)

**中国ブロック**

本戦出場校2校/参加13校



鳥取城北高等学校 (鳥取)



福山明王台高等学校 (広島)

**九州ブロック**

本戦出場校2校/参加9校



八幡中央高等学校 (福岡)



鹿児島実業高等学校 (鹿児島)

新設

**チャレンジ枠**

本戦出場校2校

初出場枠



飯山高等学校 (長野)

少人数枠



開建高等学校 (京都)

書道パフォーマンス甲子園

全国の高校書道部員が「夢の舞台」と憧れる、聖地・四国中央市を目指し、今年も新規15校を含む109校がエントリー。  
北海道・東北ブロックからは仙台育英が堂々の1位通過。予選突破の勢いそのままに、初の頂点を目指す。  
関東ブロックからは、過去最多27校が参戦。昨年王者の水戸葵陵ら強豪5校が顔を揃えた。  
中部ブロックでは上田西が、4度目の挑戦でついに本戦の切符を獲得。積み重ねた努力が歓喜につながった。  
近畿ブロックは須磨東が1位通過。兵庫、上宮と共に予選を突破した。  
中国ブロックは王座奪還を狙う鳥取城北が賞禄の1位通過。  
四国ブロックは香川県から高松商業、高松西、愛媛県から伊予が悲願の初出場を果たす。三島川之江は惜しくも涙をのんだ。  
九州ブロック1位の八幡中央は、圧巻のパフォーマンスで大会最多の16大会連続出場を更新。  
初出場枠として出場する長野県の飯山は、フレッシュな風を会場へ吹き込む。そして、少人数枠として出場するのは、京都府の開建。少数精鋭がどんな化学反応を起こすのか、注目が集まる。  
汗と涙と墨まみれの青春。22校の激闘が四国中央市の夏を更に熱くする！

本戦出場22校 決定！

**北海道・東北ブロック**

本戦出場校2校/参加8校



仙台育英学園高等学校 (宮城)



八戸東高等学校 (青森)

**関東ブロック**

本戦出場校5校/参加27校



水戸葵陵高等学校 (茨城)



本庄東高等学校 (埼玉)



早稲田大学本庄高等学院 (埼玉)



八千代松陰高等学校 (千葉)



伊勢崎清明高等学校 (群馬)

この夏、聖地・四国中央市で  
もっとも熱い衝動をぶつけるのは!?